

まちがいさがし① 加減法

中2／連立方程式 ひき算の符号のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり ひき算では、引く式の全部の項の符号が変わる

- (1) 引く式は かっこをつけて考える $(3x + 2y) - (3x - y)$
- (2) かっこをはずすと 全部の項の符号が変わる $\rightarrow 3x + 2y - 3x + y$
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す（操作を書いた行も 1行と数える）
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺と くらべる欄

友だちは加減法で解きました。ひき算の符号に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を見つけて直し、答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} x + 5y = -4 \\ x - 3y = 4 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $(x + 5y) - (x - 3y) = -8$
- (2) かっこをはずす $x + 5y - x - 3y = -8$
- (3) 整理 $2y = -8$
- (4) $y = -4$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問3
$$\begin{cases} 3x + 2y = 20 \\ -2x + 2y = -10 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ① - ② をして y を消す
- (2) 左辺 $(3x + 2y) - (-2x + 2y) = 5x$
- (3) 右辺 $20 - (-10) = 10$
- (4) まとめると $5x = 10$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問2
$$\begin{cases} 2x + 2y = 4 \\ 2x - y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $y = -9$
- (2) $y = -9$
- (3) ①に入れて $2x - 18 = 4$
- (4) $x = 11$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

問4
$$\begin{cases} 3x + y = 14 \\ -x + y = -2 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

- (1) ①-② $4x = 12$
- (2) $x = 3$
- (3) ①に入れて $9 + y = 14$
- (4) $y = 5$

まちがえたのは 行め
その行を直すと

確かめ ① _____

確かめ ② _____

正しい答え $x =$ $y =$

見直し ☐ 引く式の全部の項の符号を見た ☐ 「確かめ」をした 自分が まちがえた問の数 () 問



まちがいさがし① 加減法【こたえ】

中2／連立方程式 ひき算の符号のまちがいを直す 4問

なまえ _____

ひづけ _____

きまり ひき算では、引く式の全部の項の符号が変わる

- (1) 引く式は かっこをつけて考える $(3x + 2y) - (3x - y)$
- (2) かっこをはずすと 全部の項の符号が変わる $\rightarrow 3x + 2y - 3x + y$
- (3) 1行めから見て、はじめて正しくなくなる行を直す (操作を書いた行も 1行と数える)
- (4) 「確かめ ①②」は、直した答えを ①② に入れて 左辺を計算し、右辺とくらべる欄

友だちは加減法で解きました。ひき算の符号に、まちがいが1か所あります。

上の式を①、下の式を②とよびます。まちがえた行を見つけて直し、答えは x と y の両方を書く。

問1
$$\begin{cases} x + 5y = -4 \\ x - 3y = 4 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $(x + 5y) - (x - 3y) = -8$

(2) **かっこをはずす** $x + 5y - x - 3y = -8$

(3) 整理 $2y = -8$

(4) $y = -4$

まちがえたのは 2 行め

その行を直すと

$$x + 5y - x + 3y = -8$$

確かめ ① $1 + 5 \times (-1) = -4$

確かめ ② $1 - 3 \times (-1) = 4$

正しい答え $x =$ 1 $y =$ -1

問3
$$\begin{cases} 3x + 2y = 20 \\ -2x + 2y = -10 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ① - ② をして y を消す

(2) 左辺 $(3x + 2y) - (-2x + 2y) = 5x$

(3) **右辺** $20 - (-10) = 10$

(4) まとめると $5x = 10$

まちがえたのは 3 行め

その行を直すと

$$20 - (-10) = 30$$

確かめ ① $3 \times 6 + 2 \times 1 = 20$

確かめ ② $-2 \times 6 + 2 \times 1 = -10$

正しい答え $x =$ 6 $y =$ 1

問2
$$\begin{cases} 2x + 2y = 4 \\ 2x - y = 13 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $y = -9$

(2) $y = -9$

(3) ①に入れて $2x - 18 = 4$

(4) $x = 11$

まちがえたのは 1 行め

その行を直すと

$$3y = -9$$

確かめ ① $2 \times 5 + 2 \times (-3) = 4$

確かめ ② $2 \times 5 - (-3) = 13$

正しい答え $x =$ 5 $y =$ -3

問4
$$\begin{cases} 3x + y = 14 \\ -x + y = -2 \end{cases}$$

ある友だちの解き方

(1) ①-② $4x = 12$

(2) $x = 3$

(3) ①に入れて $9 + y = 14$

(4) $y = 5$

まちがえたのは 1 行め

その行を直すと

$$4x = 16$$

確かめ ① $3 \times 4 + 2 = 14$

確かめ ② $-4 + 2 = -2$

正しい答え $x =$ 4 $y =$ 2

丸つけのめやす／つまづきやすいところ

まちがえた行は、はじめて正しくなくなる行。符号は 文字の項にも 右辺にも 変え忘れる。

直した行は 書き方がちがっても 正しければ ○。例 問2 の 1行めは「 $3y = -9$ 」でも「 $y = -3$ 」でも ○。

答えは x と y の両方が合って ○。「確かめ」に 元の式に入れた計算が書けていれば 十分。